

福岡市科学館が遺跡をメタバース空間に再現！ 「バーチャル（メタバース）探検！縄文人の家に入ってみよう」開催 「キッズデザイン SDGs アイディアソン」での学生の意見を参考に企画設計

株式会社トータルメディア開発研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山村 健一郎）が運営する福岡市科学館※にて 2026 年 10 月 31 日（土）にメタバース講座「バーチャル（メタバース）探検！縄文人の家に入ってみよう」を開催いたします。

「バーチャル（メタバース）探検！縄文人の家に入ってみよう」は福岡市 ^{かまたみずがもといせき} 蒲田水ヶ元遺跡をメタバース空間に実寸大 3DCG で再現し、研究者とともに縄文時代の暮らしをバーチャル体験しながら様々な角度で当時の生活について考察する特別講座です。

当講座は、福岡市 ^{かまたみずがもといせき} 蒲田水ヶ元遺跡の発掘調査から得られた情報を基に、メタバース空間に竪穴式住居や土器等を再現し、まるで縄文当時の遺跡の中にいるような感覚で当時の暮らしについて観察・体験するものです。

実際に発掘調査・研究を行っている熊本大学の ^{おばたひろき} 小畑 弘己教授を講師に、縄文土器に残された種子や虫の圧痕からひも解く最新の科学解説に触れたり、道具の進化について考えることで、様々な角度から現代との生活の違いや自然との共生について考察します。

さらに、10 月 10 日（土）～11 月 23 日（月・祝）の期間は企画展「タネとムシからはっけん！neo 縄文」を福岡市科学館 5 階オープンラボで開催。実際に発掘調査で使われる道具を見たり、本物そっくりの土器片をくみだてるパズルなどを体験することができ、メタバースでのバーチャル体験とリアル観察の両方を体感いただくことができます。



【講座概要】

タイトル：「バーチャル（メタバース）探検！縄文人の家に入ってみよう」

日 時：2026 年 10 月 31 日（土）13:00～15:30

講 師：小畑弘己（おばた ひろき）熊本大学名誉教授

開催場所：福岡市科学館 4 階及びリモート参加

定 員：科学館からの参加 5 名 リモート参加 5 名 計 10 名

申込方法：いずれも公式 HP より要事前申込。申込状況は公式 HP をご確認ください。

参加料金：無料

※リモート参加時のアプリの事前インストール案内等の詳細は公式 HP を参照

<https://www.fukuokacity-kagakukan.jp/activity/2026/09/1031-2.html>

※ 2017 年より指定管理者として運営業務を推進。

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社トータルメディア開発研究所 広報チーム／熊木・鷲田

■Tel：03-3221-5558（大代表） ■Mail：Kaihatsukenkyu@totalmedia.co.jp

また、当講座は 2026 年 8 月に JT 生命誌科学館と共に、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会が主催する「キッズデザイン SDGs アイデアソン」に協力し、学生たちと共に『メタバース学習の新たな可能性について』考察した際に、「メタバースならではの体験として、過去の生活を体験してみたい」「日常でメタバースに触れるきっかけがないので気軽に体験できる機会が欲しい」「メタバースでしか再現できない世界と、逆にメタバースでは体験できない五感をつかった実際の体験の相互体験ができればおもしろい」といった学生の意見を講座設計に反映しています。

【キッズデザイン SDGs アイデアソン】

特定非営利活動法人キッズデザイン協議会が主催し、高校生・大学生を対象に、企業と学生が社会課題に対して実践的で具体的な企画提案を考えるワークショップ。企業が子どもたちの未来のために考えたい課題を提示し、それに対して学生が具体的な解決案を提示するものです。夏休み期間を活用して、学生たちに社会で必要となる実践的な経験を与えることも目的としています。今年で 7 回目となった当企画には、これまで全国だけでなく海外からも学生が参加しています。

株式会社トータルメディア開発研究所は今後もメタバースの活用も含めて、仮想空間とリアルな場をむすぶ体験の場づくりなど、DX による新たなミュージアムコミュニケーションを追求していきます。

以上

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社トータルメディア開発研究所 広報チーム／熊木・鷺田

■Tel：03-3221-5558（大代表） ■Mail：Kaihatsukenkyu@totalmedia.co.jp